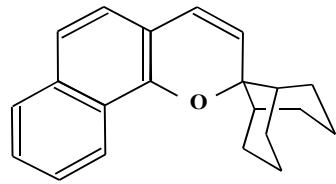
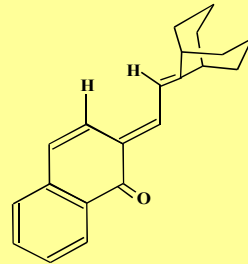


# フォトクロミック色素を固定化するナノ機能カプセルの開発

フォトクロミック色素 → 光に反応して可逆に色調を変える色素



紫外線または太陽光



遮光



白色



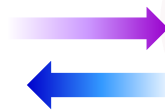
発色！

利用例

プラスチック系メガネレンズ、車や建物の窓など



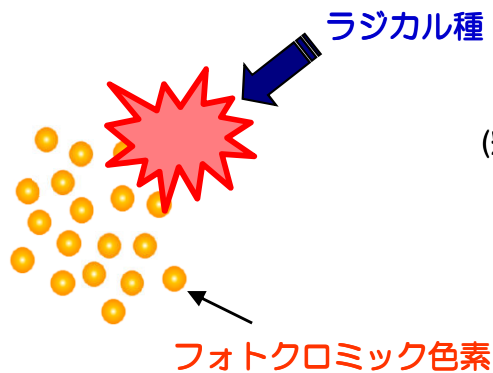
屋内時(太陽光少)



屋外時(太陽光多)

メガネレンズの作製には重合開始剤が必要

➡ レンズ作製中にラジカル種が発生！



ラジカル種によって色素が分解

ナノカプセル化  
(粒子径：100nm以下)

フォトクロミック色素

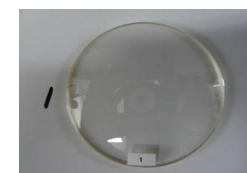
ラジカル種

カプセル壁材

カプセル化により色素を物理的に保護

カプセル化によりメガネレンズ作製時の色素の分解を防ぐことで工業的なロスを減らし、**効率性の向上**を目指す！

色素をカプセル化せず



発色強度×

色素をカプセル化



発色強度○